

平成28年度に使用する教科用図書の採択について(報告)

広島大学附属福山高等学校

平成28年度に使用する教科用図書の採択結果とその理由について、ご報告いたします。

採択教科書		選定理由 (内容の構成・配列・資料・分量・表現・表記等)
教科名	国語総合	現代を代表する評論家の評論文と、広く読まれている文学作品を、教材として多く載せており、多くの文章を読ませる授業が展開できる。また、評論文のテーマは偏りなく、幅広いものとなっており、人間、社会、自然の各領域について考えを広げることができる。さらに、「羅針盤」では、評論文の読み方やテーマごとの解説をしており、生徒の評論文を読む力を育成することができる。
発行者の略称	筑摩	
教科書名	精選国語総合 現代文編	
教科名	国語総合	基本的な教材文を、各時代を代表する作品から選んで載せており、高校古典の導入期にいる高校1年生に適切な教科書である。また、教材文の表記を工夫しており、読みやすいものとなっている。 文法や漢文のきまりについては、「古典文法の窓」や「送り仮名のきまり」などで詳しく扱っており、理解を深めることができる。
発行者の略称	筑摩	
教科書名	精選国語総合 古典編	
教科名	現代文B	第一部と第二部に分かれており、現代文Bを二年間で履修する場合に扱いやすい。 教材文は評論文を多く載せており、人間、社会、自然の各領域について考えを広げるのに適切である。また、評論文教材は、キーワードをとりあげて意味を説明しており、現代社会を論じるために必要な語彙を豊かにすることができる。
発行者の略称	筑摩	
教科書名	精選現代文B	
教科名	古典A	教材文がジャンル別に載せられており、扱いたいジャンルに沿って授業を行うことができる。また、分量的、内容的にまとまりをもって教材文が載せられているので、作品を読み深め、書き手や登場人物の感情や思想について考えさせる授業を展開するのに適切である。 コラムは古典世界や古典作品に関心を持たせ、理解を深めさせる内容となっており、生徒に読ませたい内容となっている。
発行者の略称	東書	
教科書名	古典A	
教科名	古典B	第一部と第二部に分かれており、古典Bを二年間で履修する場合に、扱いやすい。 教材文は各時代、各ジャンルの代表的な作品から選ばれており、様々な時代の書き手や登場人物の思想や感情について考えさせることができる。教材文の脚注欄には多くの注釈がしてあり、生徒の理解を助けるよう工夫されている。付録では古語、特に心情語について丁寧に説明をしており、生徒が登場人物の心情をより深く理解し、考えを深めることができる。
発行者の略称	筑摩	
教科書名	古典B 古文編	
教科名	古典B	第一部と第二部に分かれており、古典Bを二年間で履修する場合に、扱いやすい。 教材文は各ジャンルから代表的なものが選ばれており、様々な時代の書き手や登場人物の思想や感情について考えさせることができる。教材文の配列は短く読みやすいものから順に載せられており、漢文を読む力を段階的に高めていくのに適切である。また、教材文の脚注欄には多くの注釈がしてあり、生徒の理解を助けるよう工夫されている。
発行者の略称	筑摩	
教科書名	古典B 漢文編	
教科名	世界史A	グローバルな視点から世界全体のつながりをとらえており、世界全体の動きが把握しやすい。地図が多く使用されており、地域的・空間的な関係が分かりやすい。世界史の中に日本史を位置付ける視点が明確であり、生徒にとっても理解しやすい構成になっている。
発行者の略称	帝国	
教科書名	明解 世界史A	
教科名	世界史B	多角的な視点から歴史が構成されており、タテの流れを4つにまとめつつヨコのつながりにも留意した構成になっている。各ページで地図・図版・資料を取り入れ、注も一層充実させている。海域世界や中央ユーラシアからの視点を積極的に取り入れ日本とのつながりも重視している。
発行者の略称	東書	
教科書名	世界史B	

採択教科書		選定理由（内容の構成・配列・資料・分量・表現・表記等）
教科名	日本史A	本文の内容・記述に近現代史をさまざまな視点から深く学ぶことができる工夫がなされている。章立てや単元構成もわかりやすく、学習の整理がしやすい。詳しい本文と興味深い資料の的確な配置により生徒の学習意欲を喚起する構成となっている。
発行者の略称	山川	
教科書名	日本史A	
教科名	日本史B	学習上必要な内容を十分網羅し、歴史的な事象を詳細かつ明確な表現で述べている。章立てや単元構成も的確で新しい研究成果も多く盛り込んでいる。色使いも穏やかで本文と注・資料のバランスもよく、生徒の学習の深化を高める構成となっている。
発行者の略称	山川	
教科書名	詳説日本史	
教科名	地理A	本文はポイントを絞って簡略に記述されている一方、図表や写真を数多く掲載し、その解説もわかりやすいため、生徒の興味・関心を持たせやすい。地誌的分野については、地域の特徴をつかむためのコラムが充実している。また、現代の諸問題を地理的に分析・理解する題材を多く取り入れていることで、地域の現状や課題をつかみやすくしている。世界全体の課題という視点でも、環境問題に多くのページを割いており、環境地理の観点からも扱いやすい。
発行者の略称	第一	
教科書名	高等学校 地理A 世界に目を向け、地域を学ぶ	
教科名	地理B	系統地理分野においては、事象をまんべんなく取り上げ、その説明も詳細であるため、より深い理解につなげやすい。地誌分野においても、世界の全ての地域を取り上げ、自然環境から産業、文化に至るまで幅広い記述があり、より多面的な思考を可能にしている。また、両分野とも、理解の一助となる図表や写真が効果的に配置されており、生徒が効果的に理解できるよう工夫されている。
発行者の略称	帝国	
教科書名	新詳地理B	
教科名	地図	一般図は視覚的に判断しやすい彩色を用いており地形が把握しやすい。主題図は地理学習を行ううえで重要と考えられる主題が的確に選択されており、表現法においても理解しやすい工夫がなされている。環境問題に関して、主題図としてページが割かれているだけでなく、各地域の主題図にも随所に取り上げられ、環境学習に適している。日本に関する主題図も多く掲載され、世界の諸地域との比較を考えるための好材料となる。
発行者の略称	帝国	
教科書名	新詳高等地図	
教科名	現代社会	記述内容が詳細かつ具体的で凡例も多く掲載され、2年次にわたって学習する本校生徒が自学用としても活用しやすいものであるといえる。各章の冒頭にはイントロダクションが設けられており、これから学習する内容の具体的な事例が紹介されていることも生徒の関心を高めるために有効であると考えられる。
発行者の略称	実教	
教科書名	高校現代社会	
教科名	倫理	全体を通して、先哲の思想と現代とのつながりを強く意識した構成になっている。これは、現代の様々な倫理課題を自分自身の問題として考えることにつながり、倫理を学ぶ最も重要な目的の一つを果たすことになる。また、各章のはじめに全体を貫く問いがあり、それを考えるために必要な要素、すなわち内容解説と原典資料が過不足無く記載されている。
発行者の略称	第一	
教科書名	高等学校 倫理	
教科名	政治・経済	各単元はテーマごとに体系的に整理されており、記述内容・記述量ともに、政治・経済に対して関心の高い本校の生徒に適していると考えられる。また「現代社会の諸問題」に関する単元においては、論争となる問題を対立する二つの視点から考えさせるという構成をとっており、さらに「研究課題例」を設けるなど、課題を追究する学習のための工夫が見られる。
発行者の略称	第一	
教科書名	高等学校 政治・経済	
教科名	数学 I	必要な内容を精選し、数学の見方や考え方が身につくように工夫されている。発展的な内容についても別途取り上げるなどして効果的に学習ができるように、また生徒が進んで数学を学ぶ楽しさを味わうことができるように考えられている。理解を助けるために多くの例が取り上げられており、知識の定着と応用力をつけるための例題も積極的に取り上げられている。例題によっては解の指針や考え方がわかるような工夫もなされている。基本的な内容の理解と定着をはかり総合的な応用力を養えるように問題の配列も工夫してある。既習事項との関連性もわかりやすく表現されている。図解や側注・効率的な色使いによって見た目もわかりやすくなっている。以上の事柄から、総合的に活用しやすく、本校生徒及び授業の実態に即した教材であると考えられる。
発行者の略称	啓林館	
教科書名	数学 I	

採択教科書		選定理由（内容の構成・配列・資料・分量・表現・表記等）
教科名	数学Ⅱ	<p>必要な内容を精選し、数学の見方や考え方が身につくように工夫されている。発展的な内容についても別途取り上げるなどして効果的に学習ができるように、また生徒が進んで数学を学ぶ楽しさを味わうことができるように考えられている。理解を助けるために多くの例が取り上げられており、知識の定着と応用力をつけるための例題も積極的に取り上げられている。例題によっては解の指針や考え方がわかるような工夫もなされている。基本的な内容の理解と定着をはかり総合的な応用力を養えるように問題の配列も工夫してある。既習事項との関連性もわかりやすく表現されている。図解や側注・効率的な色使いによって見た目もわかりやすくなっている。以上の事柄から、総合的に活用しやすく、本校生徒及び授業の実態に即した教材であると考え。</p>
発行者の略称	啓林館	
教科名	数学Ⅱ	
発行者の略称	数学Ⅲ	<p>必要な内容を精選し、数学の見方や考え方が身につくように工夫されている。発展的な内容についても別途取り上げるなどして効果的に学習ができるように、また生徒が進んで数学を学ぶ楽しさを味わうことができるように考えられている。理解を助けるために多くの例が取り上げられており、知識の定着と応用力をつけるための例題も積極的に取り上げられている。例題によっては解の指針や考え方がわかるような工夫もなされている。基本的な内容の理解と定着をはかり総合的な応用力を養えるように問題の配列も工夫してある。既習事項との関連性もわかりやすく表現されている。図解や側注・効率的な色使いによって見た目もわかりやすくなっている。以上の事柄から、総合的に活用しやすく、本校生徒及び授業の実態に即した教材であると考え。</p>
教科名	啓林館	
発行者の略称	数学Ⅲ	
教科名	数学A	<p>必要な内容を精選し、数学の見方や考え方が身につくように工夫されている。発展的な内容についても別途取り上げるなどして効果的に学習ができるように、また生徒が進んで数学を学ぶ楽しさを味わうことができるように考えられている。理解を助けるために多くの例が取り上げられており、知識の定着と応用力をつけるための例題も積極的に取り上げられている。例題によっては解の指針や考え方がわかるような工夫もなされている。基本的な内容の理解と定着をはかり総合的な応用力を養えるように問題の配列も工夫してある。既習事項との関連性もわかりやすく表現されている。図解や側注・効率的な色使いによって見た目もわかりやすくなっている。以上の事柄から、総合的に活用しやすく、本校生徒及び授業の実態に即した教材であると考え。</p>
発行者の略称	啓林館	
教科名	数学A	
発行者の略称	数学B	<p>必要な内容を精選し、数学の見方や考え方が身につくように工夫されている。発展的な内容についても別途取り上げるなどして効果的に学習ができるように、また生徒が進んで数学を学ぶ楽しさを味わうことができるように考えられている。理解を助けるために多くの例が取り上げられており、知識の定着と応用力をつけるための例題も積極的に取り上げられている。例題によっては解の指針や考え方がわかるような工夫もなされている。基本的な内容の理解と定着をはかり総合的な応用力を養えるように問題の配列も工夫してある。既習事項との関連性もわかりやすく表現されている。図解や側注・効率的な色使いによって見た目もわかりやすくなっている。以上の事柄から、総合的に活用しやすく、本校生徒及び授業の実態に即した教材であると考え。</p>
教科名	啓林館	
発行者の略称	数学B	
教科名	物理基礎	<p>本書は、データやグラフなどが多く盛り込まれ、また図やモデルなどによる考察過程での補助的資料も多く、実験を中心にして、生徒の体験を重視した展開を図っている。その実験も、当校の実験の器具で無理なく実施可能な内容となっている。また、本書に掲載されている発展の内容も、基礎の内容を補完する内容となっており、当校の教育課程に照らし合わせて合致したものになっている。</p>
発行者の略称	啓林館	
教科名	物理基礎	
発行者の略称	物理	<p>本書は、扱っている物理現象を図や写真など視覚的に想起させ、1つ1つの現象の説明が丁寧で、且つ、分かりやすい。特に、法則の成り立ちや物理的考え方を、生徒自身が自学するのに適切な題材を選定し、読みながら分かる展開となっている。挿し込みなどに書かれている実験も含めて、非常に身近で、容易に試せるものも豊富であり、当校の実験の器具で無理なく実施可能な内容となっていることから、本書が当校の教育課程に照らし合わせて合致したものになっている。</p>
教科名	啓林館	
発行者の略称	物理	

採択教科書		選定理由（内容の構成・配列・資料・分量・表現・表記等）
教科名	化学基礎	本書は内容が図や写真、グラフや表などを用いて、わかりやすく、且つ視覚的に確認しやすいように掲載されている。また、要所に「参考」「発展」などの項目が設けられ、授業やその補足として使うだけでなく、生徒の自学自習を促すような構成になっており、学習すべき内容の系統性や発展性に配慮が行き届いた構成となっている。また、本書の冒頭部には「実験の基本操作」について、写真で詳しく解説しているページがあり、これは実験を多く取り入れた当校の化学教育の内容・展開と合致したものになっている。
発行者の略称	第一	
教科書名	高等学校 化学基礎	
教科名	化学	本書は諸現象や物質について図や写真などを用いて、わかりやすく解説する構成となっている。また、内容と関連して、近年話題となっている化学的な事象・技術や、物質・反応についての予備知識が「トピック」「参考」などのかたちで取り入れられており、生徒個々の興味・関心や理解度に応じた授業展開が可能となっている。また、観察・実験についても、各章ごとに探究活動が設けられているほか、代表的な実験は本文中で紹介されているなど、実験を主体とした当校の授業展開・学習指導に適した内容の配置となっている。
発行者の略称	第一	
教科書名	高等学校 化学	
教科名	生物基礎	本書の観察・実験、探究活動を通じて問題解決に向かう構成は、当校の授業において活用しやすいものであり、その手順と配置も適当である。また、学習内容に準ずる話題や発展的内容が適切に配置され、その内容と頻度が基礎的学習にふさわしい。科学的な知識に関しても、多様な事象・現象が扱われており、用語やモデルの系統的な配列など、生徒の実情に合わせた当校の学習指導の方針に適したものとなっている。
発行者の略称	実教	
教科書名	生物基礎	
教科名	生物	本書は、生命現象と生物の存在様式を詳細に扱い、その内容を適切に整理して容易に理解できるよう配慮されている。発展的内容の配置頻度が適当であり、その適時性もある。観察・実験、探究活動を通じて問題解決に向かう構成は、当校の授業において活用しやすいものであり、その手順と配置も適当である。以上の特性は生徒の実情に合わせた当校の学習指導の方針に合致したものである。
発行者の略称	第一	
教科書名	高等学校 生物	
教科名	地学基礎	本書は、地球から宇宙へとスケールが大きくなっていく構成、換言すれば身近な視点から全体的・俯瞰的な視点へと移り変わっていく構成になっており、生徒がよりイメージしやすくなるよう工夫されている。内容・構成も系統的に配列されているため、学習指導計画を考える際、生徒の実態に応じた柔軟なプランニングが可能である。また、当出版社は、基礎を付していない「地学」教科書を発行している数少ない会社の一つであり、基礎を付していない「地学」教科書への使用を見越して、内容的にも充実した、発展的な事象・現象を取り扱ったものとなっている。これらの特性は、当校の教育課程や学習指導に照らし合わせて適したものとなっている。
発行者の略称	啓林館	
教科書名	地学基礎	
教科名	保健体育	内容の構成・配列が適切で理解しやすい。資料が豊富で扱いやすい。「もっと広げる深める」やコラムが用意されており、生徒の興味・関心を高めることができる。章のまとめは自発的学習を促すものとして役に立つ。など生徒の学びを最優先して採択した。
発行者の略称	大修館	
教科書名	現代高等保健体育	
教科名	音楽Ⅰ	クラシックやポップス、また独唱や合唱、器楽などの多種多様な楽曲が網羅されており、生徒の実情に応じて取捨選択できるようになっている。外国語の歌唱はイタリア語、ドイツ語の発音や意味についても丁寧な解説があり、使いやすい。音楽史のページも図や楽譜が適切に配置され、生徒にとって理解しやすい工夫がされている。
発行者の略称	教芸	
教科書名	MOUSA1	
教科名	音楽Ⅱ	音楽Ⅰとの継続性が図られており、特に器楽では音楽Ⅰで培ったギターの基礎的な奏法の上に立って、ギター弾き語りなどの発展的な内容ができるようになっている。歌唱では合唱やボイスアンサンブルなどが取り入れられ、生徒が自分たちで考えながら曲作りをして行けるような構成となっている。
発行者の略称	教芸	
教科書名	MOUSA2	

採択教科書		選定理由（内容の構成・配列・資料・分量・表現・表記等）
教科名	音楽Ⅲ	オペラや武満徹などの現代音楽が多く取り上げられ、音楽をより深く追求しようとする生徒にも対応できるようになっている。また、「さとうきび畑」や「Imagine」など、歌唱を通じて平和を考える教材があるのも特徴である。教材の配分は、歌唱や鑑賞に対して器楽の内容の割合が少ないが、当校の実情に合っているのだからちょうど良いものと言える。
発行者の略称	友社	
教科書名	高校生の音楽3	
教科名	美術Ⅰ	B5サイズで持ち運びしやすい。生徒の感性に触れるような作者の言葉が頁ごとにあるため、制作意図を知ることができ、自らの作品を制作する手助けとなる。ゴッホ、ピカソ、北斎など、美術を学ぶ上で知っておきたい作家から、現代の作家まで幅広く、しかも、基本を押さえながら、様々な分野の作家に興味を持たせることができる。見開きの部分も、中央がしっかり見ることができるよう、製本を工夫してある。
発行者の略称	日文	
教科書名	Art and You 創造の世界へ	
教科名	美術Ⅱ	生徒の好奇心と意欲を引き出すよう、古今東西の作品が精選してある。特に山口晃の奇抜な発想による絵画は、落書きから作品にまで発展できるという、生徒たちが興味を持って取り組めるような作品が冒頭に紹介されている。技法面でも、油彩画や日本画、水彩画の制作過程や素材の違いによる比較が直感的にできるようレイアウトの工夫もされており、どのようなプロセスで作されたのかを把握することができ、より作品の魅力に迫ることができる工夫がされている。
発行者の略称	日文	
教科書名	高校美術2	
教科名	書道Ⅰ	今では一般的になってきているが、できるだけ古典・古筆を原寸で載せられる形を工夫した教科書である。その古典・古筆も適切に選択され、特に楷書・行書・仮名では、それぞれ先ず歴史が俯瞰できる並びを提示しておいてその後詳しく解説をしていく、という体裁になっているところがわかりやすい。「蘭亭序」も非常に鮮明なものになっており、その裏に「風信帖」が載せられているのも利点といえよう。漢字仮名交じりの書の解説もわかりやすい。
発行者の略称	教図	
教科書名	書Ⅰ	
教科名	書道Ⅱ	Ⅰと同じく、篆書・隸書・草書で、時代の流れや変遷が俯瞰的にわかるような並べ方を、それぞれの最初に持つてくるという編集が施されている。そのあとに代表的な古典が書き方も含めてわかりやすく載せられている。行書・楷書では、いわゆる発展的な作品が数多く取り上げられており、いろいろな書体に関して生徒にイメージを膨らませる授業展開が可能となるつくりになっている。古典・古筆にもとづいた漢字仮名交じりの書への展開もよく工夫されている点である。
発行者の略称	教図	
教科書名	書Ⅱ	
教科名	書道Ⅲ	更に発展的な古典・古筆が適切に載せられているのと、そこから発想したと思われる現代の作品を並べる工夫がなされている。それによってその古典・古筆がどう扱われてきたのかということ、そこからどのように作品に展開されているかがわかる。また、元明清や江戸時代の作品などもとりあげられているので、様々な書風の理解と同時に、創作への手がかりにもなる内容となっている。
発行者の略称	教図	
教科書名	書Ⅲ	
教科名	コミュニケーション英語Ⅰ	読む・聞く・話す・書くの4技能の活動がバランスよく構成されている。各レッスンのトピックが多岐にわたり、生徒が考えて意見を交換したり、考えを書いたりまとめたりするのに活用できる。さらに補足教材が豊富で授業の様々な活動に利用できる。
発行者の略称	啓林館	
教科書名	ELEMENT English CommunicationⅠ	
教科名	コミュニケーション英語Ⅱ	Ⅰと同様に、読む・聞く・話す・書くの4技能の活動がバランスよく構成されている。トピックも多岐にわたり、生徒がしっかり考える材料を与えてくれている。
発行者の略称	啓林館	
教科書名	ELEMENT English CommunicationⅡ	
教科名	コミュニケーション英語Ⅲ	ⅠⅡと同様に、読む・聞く・話す・書くの4技能の活動がバランスよく構成されている。トピックも多岐にわたり、生徒が考えを深めて意見を交換したり、書いたりするのに活用できる。さらに補足教材が豊富で授業の様々な活動に利用できる。
発行者の略称	啓林館	
教科書名	ELEMENT English CommunicationⅢ	
教科名	英語表現Ⅰ	表現活動に必要な文法事項が整理されており、表現活動に活用できる練習問題が用意されている。加えてListeningやReadingの活動をもとにした表現活動が可能となるように工夫されている。
発行者の略称	第一	
教科書名	Perspective English ExpressionⅠ	

採択教科書		選定理由（内容の構成・配列・資料・分量・表現・表記等）
教科名	英語表現Ⅱ	Iと同様に、表現活動に必要な文法事項が整理されており、表現活動に活用できる練習問題が用意されている。加えてListeningやReadingの活動をもとにした表現活動が可能となるように工夫されている。
発行者の略称	第一	
教科書名	Perspective English Expression II	
教科名	家庭基礎	生徒の興味関心を惹く内容のコラムが多く掲載されていて主体的に考えさせる材料になる。実物の写真などが豊富に載せてあり、生活経験の少ない生徒のイメージをわかりやすい。統計資料が多く掲載されているので、それを使って生徒に社会の現状について考えさせることができる。今までプリントして配布していた保育に関する資料が掲載してあるので便利。各テーマ毎に持続可能な社会に向けて考えさせる内容が設けてあり生徒は課題を持ちやすい。大きく自立した社会を目指してというテーマの中に衣食住生活、経済生活が組み込まれていて自立を目指して学習する教科だということを生徒に意識させやすい。など授業者の意図に沿った点が多数ある。
発行者の略称	第一	
教科書名	高等学校 家庭基礎 ともに生きる・未来をつくる	
教科名	情報の科学	本校では研究開発の一環として教科「情報」の2単位分を新教科「課題学習への誘い」の「数理情報科学分野」として実施している。教科「情報」の問題解決を中心テーマに据えて、問題解決の手順、問題解決のためのコンピュータの活用、モデル化とシミュレーションおよびその過程、コンピュータを活用するための科学的理解、コンピュータを利用するにあたって必要なネットワークの知識と情報モラルなどを扱う。本校の学習内容に最も即した内容の教科書を選択すると、特に「情報とコンピュータ」や「問題解決のためのコンピュータの活用」の部分で最も活用しやすい。
発行者の略称	実教	
教科書名	最新情報の科学	
教科名	工業	学習内容が的確に捉えてあり、生徒に理解しやすいものとなっている。プログラム演習や各種実験が学習を進める中で適切な時期に配置されている。図や表、写真がわかりやすく配置されており、学習を補助する資料としても活用できる。また、学習内容に関連した参考資料や発展的な内容も掲載されており、生徒が学習内容を深めることができる構成になっている。
発行者の略称	実教	
教科書名	情報技術基礎	